

# 美方高校新聞



発行所  
福井県立美方高等学校 文化部  
新 聞 責任者 部  
編 集 責任者 部  
新 聞 責任者 部

## 歌詞に寄り添う優しい歌声 第九十九回福井県合唱祭出場



近江谷さんが部員の歌にアドバイス

個性と楽しみが  
詰まった歌声  
合唱部

合唱部は主に三階大会議室で活動している。取材時は、ちょうどハーモニーホールで行われる第九十九回福井県合唱祭へ向けての練習中だった。合唱部は三年生一人、二年生二人、一年生六人の計九人。パート練習中、あるパ

近江谷さんが部員の歌にアドバイス  
取材を進めると、合唱部はただ仲が良かっただけでないことが

トが歌い始めると、別々に練習していた他のパートが合わせて自然と歌い出すという場面が何度もあった。合唱部のメンバーはにこやかで、合唱を純粹に楽しむ気持ちが伝わってきた。部長の赤尾寛太さんは「合唱部にいる瞬間、この空間が楽しい」と語る。練習中は自分たちが楽しめる雰囲気づくりを意識しているそうだが、また、歌詞に寄り添うことを大切にしている

と話す。歌詞に込められた思いを「美高合唱部」なりに考え、読み取ることで、聴いている人の心により響く歌を歌うことができると。一年廣瀬葵さんは「みんな歌が好きで、人のことを笑わない、個性を認め合っているのがいい」と合唱部について話した。



本番へ向けて音合わせ

分かる。ソロパート決めた時のことだ。「自分の歌を聞いてほしい」という思いは部員の多くにあるが、当然ながら、選ばれる人と選ばれない人が出てくる。悔しい気持ちを感じた人もいたはずだ。しかし、そのことを引きずらず、オーディション後は全員がいい合唱を目指して練習を開始したという。

今回の取材時には、教育実習生の近江谷海風さん、卒業生の澤本千博さんも一緒に活動していた。元合唱部の二人は、現在の部について「皆で一つの良い合唱を作っていくことを願う。」

### 福井県合唱祭

六月十八日、第九十九回福井県合唱祭がハーモニーホールで行われ、美方、仁愛女子、敦賀気比、高志などから約八十名が参加した。各校の発表後、参加者全員による合唱もあり、息の合った



合唱部全員集合!!

た歌声を披露した。部長の赤尾さんは「練習よりいい調子で歌えた。音程や音量が合った合唱ができたし、大人気で歌うのは楽しかった」と話した。顧問の石川先生は「今年のはコロナの制限から解放されての祭典で、表情がよく見え、こちらの心により響く歌声を聴くことができた」と合唱祭を振り返った。



よい合唱を目指して語り合う